



東京多摩みなみワイズメンズクラブ

chartered on 2016.7.17

2021年
7月号
(第60号)

今月のことば

「人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい。」新約聖書ルカによる福音書6:31 (伊藤幾夫選)

(当クラブは、多摩市社会福祉協議会多摩ボランティア・市民活動支援センターの登録団体です。)

2021~2022年度 主題

クラブ会長 伊藤幾夫「楽しさをシェアしよう！」

東新部部長 松香光夫(東京町田コスモス)

「何が問題か、どうしたら良いか、道は一つではない」

東日本区理事 大久保知宏(宇都宮)「私たちは 次の世代のために 何ができるか？」

アジア太平洋地域会長 大野 勉(神戸ポート)「100年を越えて変革しよう」

国際会長 キム・サンチェ(韓国)「世界とともにワイズメン」

《クラブ役員》会長 伊藤幾夫 副会長 安藤慎次 直前会長 深尾香子
 書記 田中博之 会計 綿引康司 担当主事 小野 実

今月の強調テーマ キックオフ、Change! 2022 (このプロジェクトは3年目になります)、PR (外部へ発信)

7月例会プログラム

日時：7月6日(火) 19:00~20:30
 会場：ZoomによるWEB開催
 司会：田中博之書記

- *開会点鐘および会長挨拶 伊藤幾夫会長
- *今月のことば 伊藤幾夫
- *ゲスト/ビジター紹介 会長
- *クラブ役員就任式、元会長バッチ授与式、会長バッチ引継式
- *クラブ会長所信表明 会長
- *東新部部長公式訪問挨拶 松香光夫部長
- *チーム報告 (農園、多摩社協、地域団体)
- *YMCA ニュース・連絡等
- *部役員から一言
- *メンバー近況報告
- *ハッピーバースデー/アニバーサリー
- *閉会挨拶および閉会点鐘 会長
(WEB開催のため構成を一部省略しています)

【巻頭言】「楽しさをシェアしよう！」

当クラブは、7月17日に5周年を迎えます。この5年でクラブ活動の方向性が、ある程度見えてきたように思います。そのひとつは、クラブの「強み」として「農園活動」があげられると思います。これは当クラブメンバーの藤田智さん(恵泉女学園大学教授)の存在によるところが大きいです。彼のサービス精神旺盛な姿勢にメンバーが呼応し、充実した実践活動が展開されています。昨年度トライアルとして行った「プランター野菜栽培講座」(Zoom)は、他クラブのワイズへも呼びかけた結果、20名超の受講者を得て大盛況でした。今期は一般向けに「野菜講座」の展開が予定されています。楽しみです。

今期、会長主題を「楽しさをシェアしよう！」としました。近隣の東京町田コスモスクラブと東京町田スマイリングクラブと連携して、お互いの「強み」を共有し、それを協働していきたいと考えています。具体的には、偶数月の例会を「3クラブ合同例会」とし、協働プログラムを話し合う機会にしたいと思っています。当クラブの6月例会で両クラブの会長、今村さん(東京町田コスモス)、為我井さん(東京町田スマイリング)にも承認をいただきました。楽しさをシェアして、仲間を増やしていきましょう。(伊藤幾夫)



7月の Happy Birthday / Happy Anniversary

どちらも該当者なし

6月例会	在籍12名 (内広義会員1名) 例会出席21名	出席内訳	メンバー 9名		BF		ファンド	
			メンバー	メーキャップ	切手	使用済み切手、少しでもご持参ください	オークション	
			出席率 82%		375g (昨年度累計 375g)		0円	
			メネット 0名		ぼんぼこファンド 12,700円		0円	
			ゲスト・ビジター 12名		(昨年度累計25,500円)		0円	
						(今年度累計)	0円	
						スマイル	0円	
						(今年度累計)	0円	

6月例会報告

6月1日(火)19:00から、例会がZoomにて開催されました。東京町田コスモスの次期会長と、東京町田スマイリングの会長をお招きした今回の例会に、ビジター11名、ゲスト1名と多くの方が参加されました。深尾会長からのビジター・ゲスト紹介が済んだ後、伊藤次期会長から「次年度に向けてやりたいこと」として、2点提案いただきました。1点目は「偶数月の3クラブ持ち回り合同例会の開催」、2点目は「各クラブのプログラムの共同開催」です。この提案は、クラブとしての親睦を深めることと、農園の収穫作業や、東京町田スマイリングの東新部大会ホストといった人手が必要なプログラムの円滑な実施という、2つを目的としています。本提案は、参加者全員に総論で同意いただき、第二例会で正式に図った上で、詳細を調整することになりました。

東新部の松香次期部長からは、SDGsを軸に据えた活動に、3クラブの取り組みを充てたいというご意見もいただきました。

チーム報告「農園」では、プランター栽培について、参加者が非常ににこやかな雰囲気を取り組んでいる旨、石田さんから報告がありました。「多摩社協・地域団体」では、災害時のボランティアセンター運営の訓練について、深尾会長からの連絡がありました。

YMCAニュースの後は、6月12日開催の第24回東日本区大会、9月の東新部大会、東新部のCS活動「思い出のランドセルギフト」活動等の各種紹介が続き、ほぼ定刻通りに終了となりました。(小早川記)



《出席者》「メンバー」9名：安藤、石田、伊藤、小野、小早川、田中、深尾、藤田、綿引、「ビジター」11名：大久保(宇都宮)、佐藤(東京)、今村、松香、谷治(東京町田コスモス)、太田、尾張、城田、諏訪、為我井(東京町田スマイリング)、山本(東京八王子)「ゲスト」1名：山尾研一(町田聖書キリスト教会)

6月第2例会(運用会議)報告

6月7日(月)19:00から、Zoomにて6月第2例会が開催されました。会計報告では、玉ねぎ収穫の売り上げが12,700円(1回目5,700円+2回目7,000円)になったとの報告がありました。定例審議事項では、クラブ役員就任式等の7月例会プログラム確認の他

に、ブリテン7月号から「近隣3クラブの情報共有」、「東日本区CS・Yサ活動」、「Change!2022」の3記事を新たに掲載開始することを決定しました。また、審議事項では、伊藤さんが新年度の例会とイベントスケジュール案を説明し、例会で提案された2点について、正式にクラブとしての承認を得ました。また、ベルブ永山が無料で貸与していたロッカー利用について、クラブとして継続する方針であることを確認しました。最後に、今期末をもって退会する小早川がご挨拶させていただき、終了となりました。(小早川記)

《出席者》6名：石田、伊藤、小早川、田中、深尾、綿引

新年度クラブ役員

新年度のクラブ役員は、次の方々です。どうぞよろしくお願いいたします。

会長



伊藤 幾夫

副会長



安藤 慎次

書記



田中 博之

会計



綿引 康司

直前会長



深尾 香子

担当主事



小野 実

偶数月に3クラブ合同例会を開催

今期は、東京町田コスモスクラブ(以下コスモスクラブ)、東京町田スマイリングクラブ(以下スマイリングクラブ)と、協働プログラムを展開することになりました。具体的な「協働」のひとつとして、3クラブ合同例会を偶数月に開催します。合同例会のホストは、8月と2月は当クラブ、10月と4月は、スマイリングクラブ、12月と6月は、コスモスクラブとなります。当面の予定として、前期分は、次のとおりとなります。10月、12月は、例会日がホストクラブの日になり、通常とは、日程が異なるのでご留意ください。

《例会日：前期》(下線付きの10、12月が変則日程)

8月例会 8月3日(火)19:00~20:30 Zoom 会議

第1回合同例会「納涼例会」

9月例会 9月7日(火)19:00~20:30 Zoom 会議

10月例会 **10月20日(水)**19:00～20:30 Zoom 会議
第2回合同例会
11月例会 11月2日(火)19:00～20:30 Zoom 会議
12月例会 **12月11日(土)**
第3回合同例会「町田YMCA市民クリスマス」

3 クラブ情報共有コーナー

*今期、3クラブ協働プログラムの実施にあたり、ブリテンに情報共有コーナーを設けました。楽しみをシェアしていきましょう。(伊藤記)

東京町田スマイリングクラブ会長 為我井輝忠さん

今後の3クラブ合同例会の計画案をご提示いただき、ありがとうございます。私たちスマイリングクラブとしては、協力していきたいです。私たちの担当は、10月ということで、今後計画していきたいと思います。ブリテンの情報共有コーナーということで、共通の記事を載せるという案もいいですね。今後ともよろしくお願い致します。



東京町田コスモスクラブ会長 今村路加さん

こんにちは。東京多摩みなみクラブの活動計画案を拝見しました。ありがとうございます。どうぞよろしくお願いたします。



部長公式訪問

7月例会は、東新部部長が公式訪問をされます。今期部長の松香光夫さん(東京町田コスモス)は、部長主題として「何が問題か、どうしたら良いか、道は一つではない」を掲げています。また、テーマのひとつとして「SDGs」を取り上げています。3クラブ協働プログラムとしても取り組めることを期待します。



会計からのお願い

ワイズメンズクラブは7月から新年度となりますので、クラブ会費の納入をお願いいたします。今年度の会費月額も3,000円とします。(例会開催時の食事代は、その都度お支払い願います。)会員の皆様は、半期分18,000円をクラブ口座にお振込み下さい。

【振込口座】多摩信用金庫 桜が丘支店 普通預金
0251660 東京多摩みなみワイズメンズクラブ

献金表彰について(東日本大会報告)

毎年2月に、皆さんの厚志を集計し、区へ献金している件について、先の区大会で各種表彰の発表がありましたので、報告します。

- ・CS献金達成賞
- ・一人当たりASF献金貢献賞3位(1,100円)
1位横浜とつか4,167円、2位東京たんぼぼ1,214円
- ・ASF献金達成賞
- ・FF献金達成賞
- ・BF献金達成賞
- ・BF使用済み切手収集協力賞
- ・TOF献金達成賞
- ・一人当たりTOF献金貢献賞2位(1,664円)
1位東京たんぼぼ2,157円、3位東京西1,650円
- ・RBM献金達成賞
- ・一人当たりYES献金貢献賞1位(591円)
2位東京サンライズ563円、3位東京西550円
- ・YES献金達成賞
- ・PWALP献金協力賞
- ・全献金達成賞

上記の通り、全献金達成賞を受賞できました。そのうち3賞では上位での受賞となりましたが、ご覧の通りいずれも僅差で、他クラブさんも頑張っておられることから、共に“多くの人の幸せ”を十分に想像出来る力を、育てておかねばと思いました。また、使用済み切手収集部門では、東京町田スマイリングが第1位(20,100円)、PWALP部門では、当クラブとともに、東京町田コスモス、東京町田スマイリングも受賞されました。両クラブにはお祝いを申し上げ、一緒に喜びたいと思います。(深尾記)

「東日本区 CS・Yサ事業主任」として

<第1回-7月度>

ワイズの役員は、直前期・現期・次期の3人が力を合わせ、課題解決に取り組む「トロイカ」体制が確立されていますが、新年度は更に、区の4事業主任(CS・Yサ、会員増強、国際・交流、ユース)とワイズメネット委員長が、積極的に横の繋がりを持って、互いに学びを深め、共に歩む事も期待されています。

私も、去る10月に「次期事業主任」の役割を与えられて以来、この縦と横の繋がりを得て、今何が必要とされているかを学びました。そして、事業主任方針として以下を掲げることといたしました。

- 1.クラブ単位に期待すること
 - ・自分たちの活動を振り返る。
 - ・SDGsによる17の目標と活動を照合する。
 - ・withコロナ禍で可能な活動計画を作成する。
 - ・外部に向けた発信方法を探し当てる、または始めてみる。

2.ひとりひとりに期待すること

- ・自分を見つめてどんな形でならワイズへ、YMCAへ、地域へ貢献出来るかを考える。
- ・非常時に自分ができるボランティアが何かを、皆で共有する。

東日本区では、今年度から、ウェブサイトの作り直しをしています。その理由は、上記1.や、2.を反映することで、より多くの方々に検索、閲覧していただき、ワイズに興味を持って貰えるようにするためです。どれも、自分たちのことを考えるだけで、難しいことはありません。「東日本区CS、Yサ事業主任」が所属するクラブとして、東京多摩みなみには、この7月、最初の一步を踏み出して欲しいと考えています。(深尾記)

Change! 2022 からのホットニュース

東日本区の特別委員会の一つにChange! 2022があります。ワイズ創立100周年の機に組織を挙げて、会員増強に取り組むべく立ち上がった特別委員会です。我がクラブから伊藤さん、深尾さん、私の3人が委員に選出され、発足以来関わって参りました。紆余曲折の中で会員増強に役立てたいとワイズの活動を知っていただくツール、宣伝媒体はないかと模索してきました。幸いにも東京ベイサイドのメンバーでITのお仕事を本業とする佐竹ワイズに知恵を絞っていただき、素晴らしい提案をいただくことになりました。近々、リリースできるところまで来ました。ワイズを手短かに知ってもらいたい、あれこれ説明するのではなく、名刺代わりのカードに印刷されたQRコードをスマホで読み取ると、ワイズ紹介の画面がスマホに自動的に現れ、わずか1分の動画の中に伝えたいメッセージを入れ込み、ワイズを全く知らない人でも何か関心を持っていただけるような呼び水となるツールです。ビジュアルでキャッチーな必要最小限の情報をお届けします。インパクトのあるプレゼンツールに仕上がってくるものと期待しています。待ち遠しいです。

DESIGN_A



DESIGN_B



委員会からの提言は、これだけではありません。これを機に、ワイズの活動を完全リニューアルされるウェブサイトにリンクさせ、クラブ単位の活動状況を手軽にスマホで見ることができるよう提言もしています。これまでのホームページは、会員向けの情報共有の道具でしかありませんでした。今後は、外に向けて活動状況を発信したり、非ワイズの人が、

情報の一部をいつでも閲覧したりといった、双方向のコミュニケーションの場、情報伝達の場が変わるはず。ワイズは、日々Changeし、多くの人に慕われ、親しまれる慈善団体でありたいと思います。(Change! 2022推進委員 石田記)

プランター栽培講座第2弾・5回目

6月22日(火)の19:00から第5回目のプランター栽培講座が、Zoomベースのオンライン講座として開催され、無事終了できました。今回も、北は北海道の帯広市から西は静岡県の沼津市、三島市からと、様々なクラブから、延べ22名の方に参加いただきました。今回は、ピーマン、トウガラシの栽培方法がメインテーマでした。お仕事などで参加できなかった人のために、田中さんがクラウド上に録画保存し、YouTubeで事後閲覧ができるようにしてくれました。



4月27日(火)の第1回目の講座を受講してから与えられた種、苗をプランターに植え付け、9種類の野菜の栽培にチャレンジしてきました。参加者が植え付けた野菜が成長し、姿形を変えながら実を結び収穫し、実食する過程を実体験します。回が進むにつれ、参加者から送られてくる生育写真の一覧表を見ながら講師の藤田さんからワンポイントレッスンを受けます。真剣さの中に失敗談や精魂込めて育てた作品のお披露目の場として講師と参加者相互の濃密なコミュニケーションの場となっています。

果たして実がつくか?	ネウワリは、残念ながら病死 自然農薬の副反応か?(笑)	
小口 ミニトマト すごい。運んでいますね。	小口 ナス どっちがつややか? 気がつけば15cmに成長!	小口 粒ぞろいの枝豆 収穫も間近か?思わず

生育中の野菜の変化に感動し、花が咲き、実がつき、収穫の喜びを場面場面で体験できます。一方で、追肥のタイミング、水やりの回数、防虫対策など、何をどうしていいか分からぬままの不安も覗かせます。だからこそ、先々の楽しみに期待を寄せながらチャレンジ精神もそそられ、栽培者として自ら

も成長して行く。回を重ねる毎に参加者同士のコミュニケーションの壁が取り除かれ、画面いっぱいには笑いが広がってきました。野菜とともに自身も成長して行くことで「趣味の集まり」が、コロナ禍の中での「楽しい居場所」になっているのかな、と感じているところです。（講座担当 石田記）



ぽんぽこ農園便り

6月13日に友の会の佐々木さんが、一人でジャガイモの収穫に取り組んでくれました。今回も作柄は良好とは言えませんでした。あれだけ土壌改良に取り組んできた中だったので、正直野菜作りは難しいなと感じさせられました。連作の影響があるのか、良く分かりません。それでも男爵芋、キタアカリ、メイクインが中玉、小玉合わせて夫々5kg、計15kgほどを収穫できました。



玉ねぎ同様、プランター栽培講座に参加いただいている近隣クラブを中心に、お買い上げいただきました。東京町田コスモスの松香さん、権藤さん、東京八王子の小口さん他のみな様、お買い上げいただきありがとうございました。また、地元で独自の食をキーワードに食事の提供と健康講話を行っている「まんまるぽ〜る」の横江さんが、コロナ禍の中での活動再開にあたって弁当販売にチャレンジしており、地元で採れた旬の野菜の一つとして、ジャガイモを使用したいとお買い上げいただきました。残った分は、メールでご案内の通り、多摩社協の窓口を通じて、地元の聖ヶ丘デイサービスに寄贈します。寄贈したものは、同サービスが毎週土曜日に実施している「食に窮している地元民向けの無料のパントリーサービス」

の食材として活用いただきます。これも well-being 活動の一環となるものです。（石田記）

多摩社協のパントリーサービス体験記

5月例会で多摩社協が運営する「ゆるたまネット」の存在を知りました。多摩社協と密接に繋がっている深尾会長から声掛けがあり、コロナ禍で食に窮している人への食料キット無料配布事業のことで、そのボランティア参加者の募集を知ったので、早速申し込みました。まずは、5月28日(金)の午後1時から、永山の福祉センター別館の作業会場で行われた「無償提供されたお米の計量、袋詰め作業」を体験参加させていただきました。次いで、6月12日(土)の午前9時には、ベルブ公民館の4Fで開催された「パントリーサービスの食品キットの配布作業」を、スタッフの一員として手伝いました。9時から30分単位で来場予約して訪れた方達に対し、受付で本人確認とアンケートへの回答を実施していただいてから、世帯人数に応じ食品キットのビニール袋を手渡す作業です。必要な食品に関するリクエストも、事前に受付けており、フードバンクに保管されている食材が段ボール詰めされ、キットとは別に無償配布されていました。



この事業は、コロナ禍で日々の食に窮している地元民、留学生などを対象とした慈善事業になりますが、これを支えるネットワークが、「ゆるたまネット」によって形作られ、多摩社協の呼びかけ（家庭に眠っている食料）、企業や地方公共団体が備蓄している緊急避難物資、地元の食品関連企業、地元農家、地元畜産業者生産者、地元のフードバンクなどの協力があって食品の再生循環サイクルとして活かされる仕組みとなっていました。

配布した食材は、お米、アルファーマーの加工食品、インスタント味噌汁、カップ麺、レトルトカレー、缶詰など。個別にリクエストのあった場合は、生野菜、卵など。食材以外では、マスク、消毒液、生理用品、ブランケットなどが用意されていました。多摩社協と「ゆるたまネット」が一体となって、食品の無償支援のための再生循環サイクルを上手く回し、個人や団体による幾重ものボランティア活動によって支えられていることを実感できました。今後とも、機会があれば積極的に参加したいです。地域 CS 活動の体験場とする他に、東京多摩みなみクラブの「well-being」を実践する対象の一つという位置付けでも参加し、

継続的に関わっていきたいと思います。地域 CS 活動のベースとして、ここで築かれたコミュニケーションの輪を広げ、活かし、クラブの発展につなげたいと思います。(石田記)



これからの予定

- ・7月10日(土) 東新部第1回役員会
- ・7月12日(月) 19:00～ 7月第2例会
- ・7月13日(火) 19:00～ プランター栽培講座6回目
- ・7月24日(土) 東新部第1回評議会
- ・7月27日(火) 19:00～ プランター栽培7回目
- ・8月3日(火) 19:00～ 第1回3クラブ合同例会
- ・8月9日(月) 19:00～ 8月第2例会
- ・8月14日(土) 13:00～ アジア太平洋地域大会

*いずれも Zoom 会議

YMCA ニュース

担当主事 小野 実

いつも YMCA へのご協力に感謝いたします。

◆2021 年度サマーキャンプ・スクール受付開始

新型コロナ禍以前、YMCA が青少年育成のために積極的に行っていたキャンプ(宿泊を伴う)やスクール(宿泊せずに YMCA へ通う)は、昨年度ことごとく中止となりました。今年度は、定員を減らし、スタッフ体制を手厚くするなど、感染症対策のもとに実施していきます。経済的な理由により参加が難しい家庭には、所得に応じて参加費を補助する「フレンドシップファンド」を積極的に活用する予定です。

◆今後の主な行事

- ・第24回会員芸術祭 6月28日～7月3日
会場：東陽町センター
- ・早天祈祷会 7月1日(オンライン)
奨励：高田一彦さん(千葉ウエストワイズメンズクラブ会長)
- ・「長崎原爆被災写真」パネル展 7月7日～16日
会場：東陽町センター
- ・東京 YMCA 高等学院主催講演会「思春期の課題と支援 ～性と人権を中心に」7月10日(オンライン) 講師：齋藤梓さん(公認心理士)
- ・第5回フードパントリー(食品の無料配布)
7月22日 東陽町センター/江東センター
(江東区内9か所の子ども食堂と協力)
- ・第35回インターナショナル・チャリティーラン
個人参加：10月16日～22日
チーム参加：10月23日～31日
スマートフォンアプリを使ったウォーキングイベントとして開催します。

連絡先：〒192-0023 八王子市久保山町1-9-3-807 田中博之(クラブ書記) (携帯) 090-9823-6387

例会日：本例会 第1火曜日 19:00～20:30 会場：ベルブ永山(当面 Zoom) 多摩市永山1-5 TEL 042-337-6111

第2例会(役員会) 第2月曜日 19:00～20:30 会場：ベルブ永山(当面 Zoom)

会費送金口座：多摩信用金庫 桜ヶ丘支店 普通口座 0251660 東京多摩みなみワイズメンズクラブ